

市長コラム

～祝 初優勝！ 尊富士関～

Vol.38



新年度のスタートから1カ月が経過しました。春風にさそわれて、つい外出をしたくなるような心躍る季節を迎える中、当市は祝福ムードに包まれています。

★5月1日に尊富士関が凱旋します！

ご承知のとおり、五所川原市金木地域出身の大相撲・尊富士関が歴史的な快挙を成し遂げました。新十両となった令和6年1月場所で十両優勝を果たし、十両を1場所で通過した後、東前頭17枚目の新入幕で臨んだ令和6年3月場所において、13勝2敗の堂々たる成績で、大正3年の両国(元関脇)以来となる110年ぶりの新入幕での幕内優勝を成し遂げ、これは初土俵から所要10場所での最速記録での優勝となったほか、三賞をすべてを受賞するなど、記録づくめの偉業に、当市のみならず日本中が熱狂の渦に包まれました。

昭和の大横綱・大鵬以来64年ぶりの新入幕11連勝の快進撃を受け、市では本庁舎と金木総合支所においてパブリックビューイングを千秋楽までの3日間実施し、ご家族をはじめ多くの市民の皆さんが見守る中、右足首の負傷を物ともせず勝利し、優勝が決まった瞬間は、割れんばかりの拍手と歓声に包まれ、皆で喜びを分かち合うことができました。

市では早速、本庁舎と金木総合支所に懸垂幕を設置し優勝を祝福したほか、尊富士関の最高の栄誉をたたえるため、市民栄誉賞を創設し、5月1日に第1号として授与することとしました。また、同日には、尊富士関の地元である金木地域と五所川原地域の2カ所で凱旋パレードを行い、立佞武多の館でのセレモニーにおいては、3月場所で尊富士関が土俵入りの際に着けた化粧まわしのデザインとなった大型立佞武多「素戔嗚尊」を出して披露し、盛り上げることであります。

まさに記憶にも記録にも残る偉業は、私たちにとって大なる誇りであり、世紀を超えた歴史的瞬間に立ち会える幸せを感じながら、そしてなにより、たくさんの方々楽しんでいただけるよう準備を進めていますので、どうぞご期待ください(3ページ掲載)。



「パブリックビューイング」の様子

★ふるさと新商品フェアを初開催しました！

市では、去る3月22日・23日の2日間、ELMホールにおいて、初となる「五所川原市ふるさと新商品フェア」を開催し、たいへんご好評をいただきました。同フェアは、昨年度、市が創設した「地域事業者支援ルーム」と「ごしょがわらチャレンジ補助金」を活用した事業者が開発した商品を紹介、販売するもので、物産関連事業者向けの商談会に加え、試食・試飲の機会を設けながら、市民の皆さんに広く知ってもらいたいという思いにより、開催したものとなります。

当日は、9事業者がチャレンジした成果となる多彩な商品を多くの市民の皆さんにお披露目し賑わいをみせたところであり、令和6年度もこうした取組を継続していきたいと思っています。

また、全国の応援したい地域に寄附ができる仕組みである「ふるさと納税」ですが、当市では、これまで全国各地の方々から寄附をいただいております。令和3年度が約8億5,000万円、令和4年度が約9億8,000万円、そして令和5年度が約10億1,000万円と初めて10億円を突破しました(4・5ページ掲載)。

市では、その応援への感謝を「お礼の品」に込めてお送りし、当市の魅力向上と市産品の販路拡大につなげられるよう取り組んでいます。また、5月には東京都で開催される丸の内行幸マルシェにおいて、私も参加のもと物産販売を行い、当市のPRを行うこととしています。

★地域のブランド化に向けて

尊富士関が快挙を成し遂げたことにより五所川原市の知名度が高まっています。このような中、前述のような地域物産を通じた取組を皮切りに、五所川原といえば「尊富士」、五所川原といえば「立佞武多」のような、五所川原といえば「〇〇」と着実にイメージされるよう、総合的な地域のブランド化に向けた取組を一層進めたいと考えています。



「五所川原市ふるさと新商品フェア」の様子